

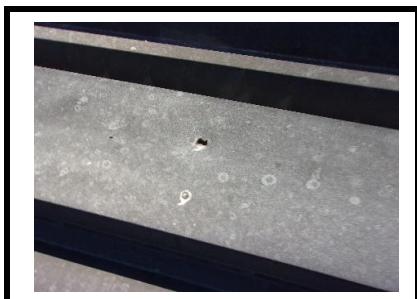
施工手順①補修

畜舎の屋根はアンモニアや風雨などにより破損した部分が見られます

屋根全体をチェックして塗料では埋めることの出来ない破損箇所や穴を補修します

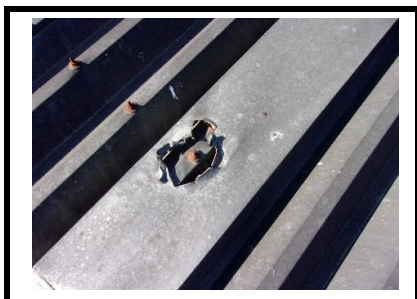
(補修前)

リベットの抜け落ちた穴



(補修前)

ボルト周りの腐食



(補修前)

屋根板のめくれ



(補修後)



(補修について)

■ 小さな穴は塗料やコーキングで補修可能です

■ 大きな穴は部分的な重ね張りなどで補修可能です

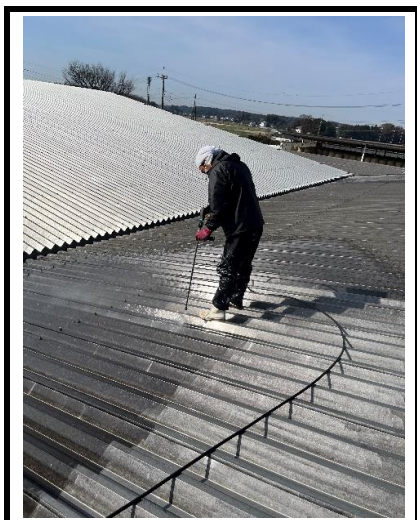
※ 全体的な重ね張りや張替えより経済的に補修が可能です

施工手順②高圧洗浄

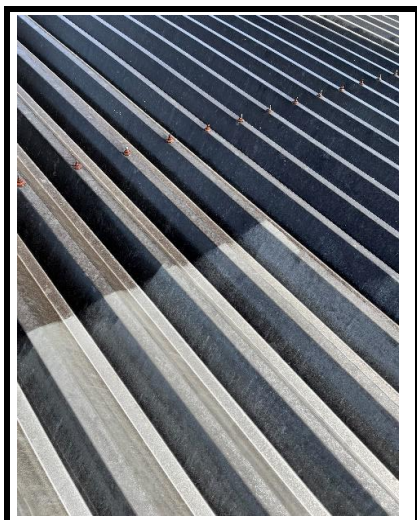
屋根に付着した汚れ/黒ズミは太陽熱を吸収し畜舎内へと熱を発生します

高圧洗浄にて屋根に付着した土などの汚れ/黒ズミを洗浄します

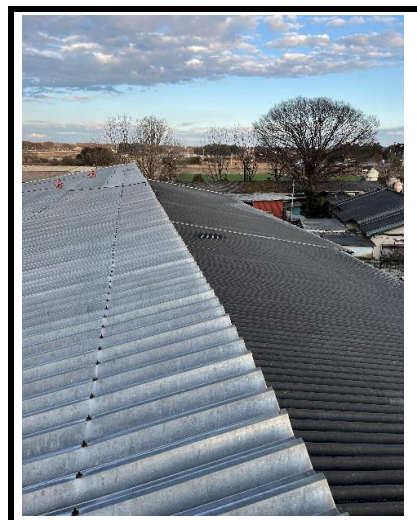
(洗浄中の様子)



(左側洗浄前/右側洗浄後)



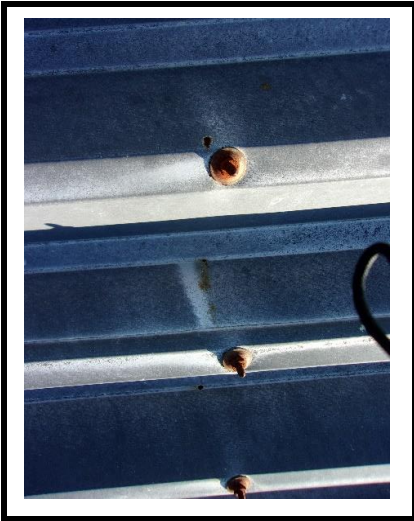
(左側洗浄後/右側洗浄前)



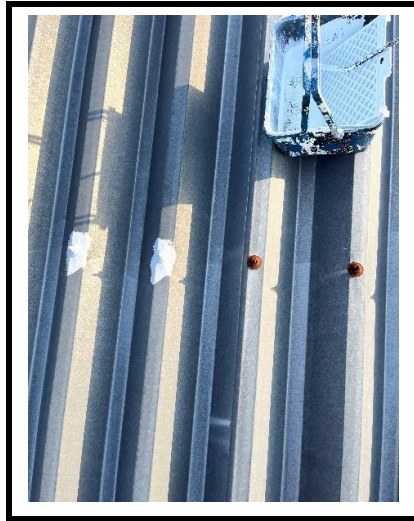
施工手順③ボルト部分の錆止め塗装

屋根材に比べてボルト部分は錆びやすい素材(安価な素材)が使われていることがあります
ボルト部分の腐食から屋根に錆が移り穴が開くのを防ぐためにボルト部分の錆止め施工をします

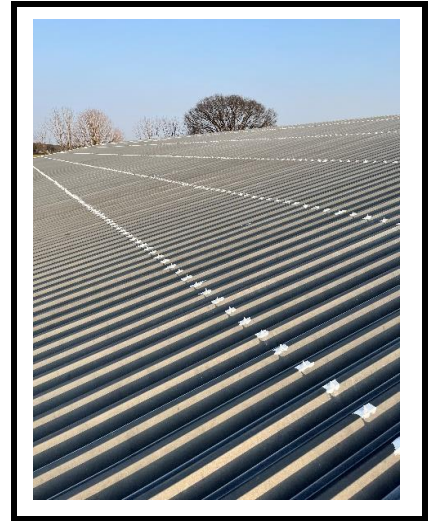
(錆びたボルト)



(ボルト部分を錆止め)

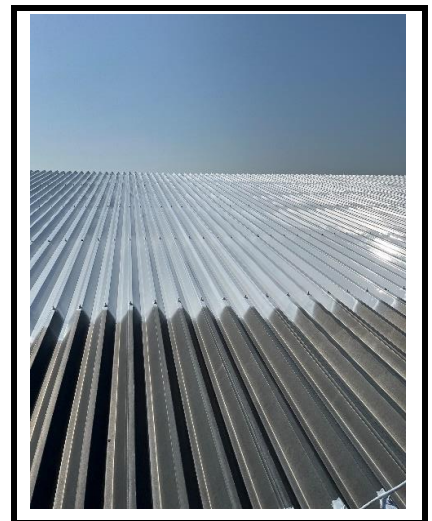
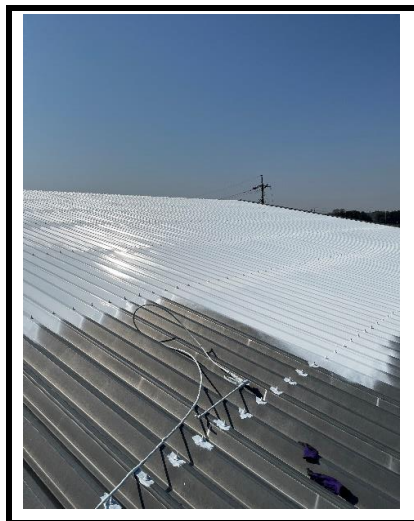
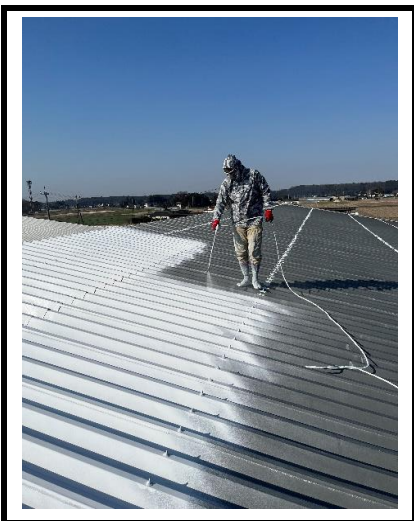


(屋根全てのボルトを錆止め)



施工手順④屋根材部分の錆止め塗装

遮熱塗料を塗装する前に屋根の錆びを防ぐために錆止め塗装を行います
遮熱塗料のみの施工と比較して屋根の耐用年数/耐久性が向上します

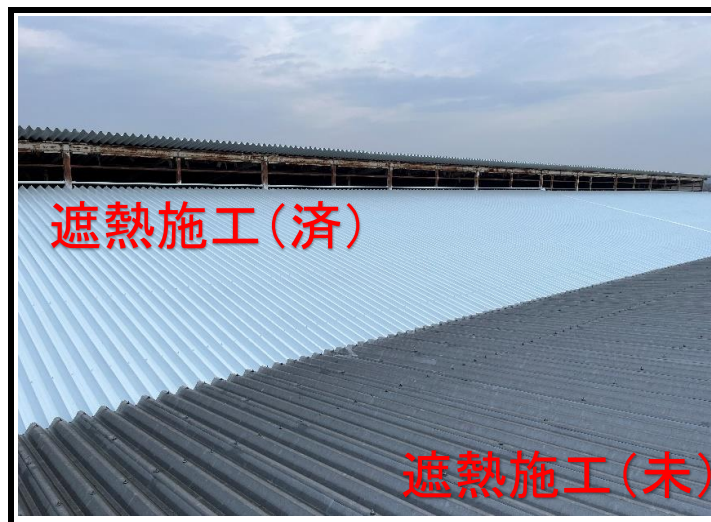


施工手順⑤遮熱塗料で塗装する

破損部分の補修/高圧洗浄/錆止め塗装が完了した後に遮熱塗料を塗装します

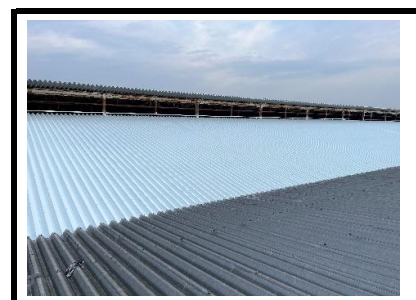
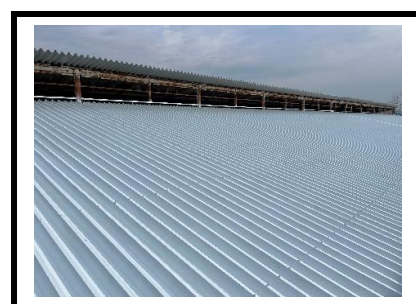
丁寧な下処理(補修/錆止め)の後で遮熱塗装をするので仕上がりが綺麗で長期効果が持続します

(遮熱塗装の様子)



施工手順⑥完成！！

- 優れた遮熱性能で、畜舎内の温度を下げて牧場の運営をサポートします
- 遮熱性能はランニングコストゼロで10年近く続きます
- 塗装で錆や腐食を抑制し屋根の耐用年数を伸ばします
- 重ね張り施工と比較して畜舎への荷重負担も少なくコスト的にも安く施工が可能です
- 全面張替えと比較して部分補修で修理可能な部分は部分補修でコストを抑えます



(株式会社カウコン 0532-21-8236)